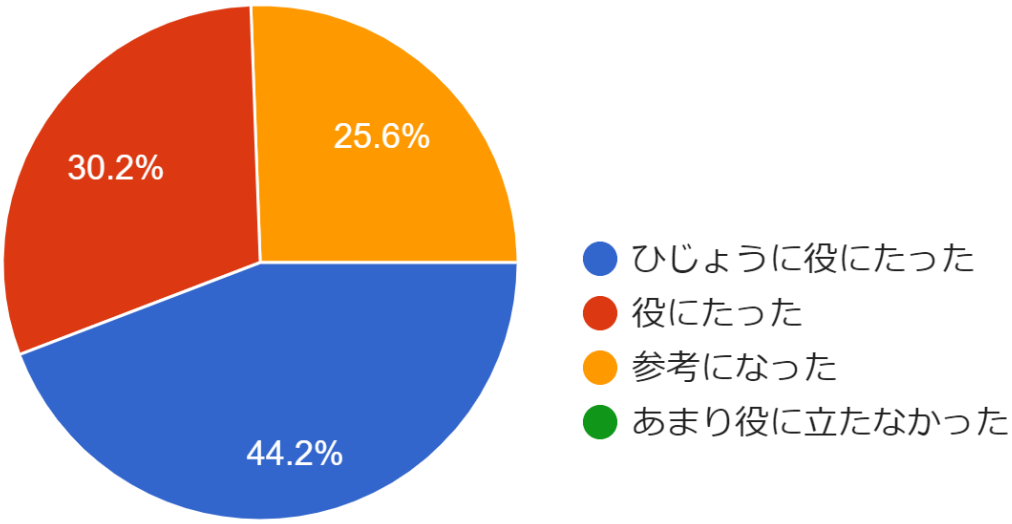
揖斐郡教育研修センター通信第８号　夏季研修Ⅲ特集号　Ｒ４．８．１５

令和４年度夏季研修Ⅲ（ICT 活用）　還元度アンケートのまとめ

研修の満足度



CT 研修を受けてこれからの授業や教育活動で活用していきたいと思ったこと

(1) TEAMS 等オンラインツールの活用

- チームズを上手に活用し、双方向での活用をしていきたい
- TEAMS の新しい活用方法
- 課題のオンライン提出化。また TEAMS のアンケートは学級活動だけでなく、自分の担当教科にも使えるので実践したいと思った。
- Teams の効果的な使い方を初めて知り、自分にもできそうだなと思ったので、英語などで小学校でもできる音読課題などを取り入れていきたいと思った。
- teams 内での共有ファイルを授業の考えの共有の場面で使っていきたいと思った。
- チームズやスカイメニューをまずはどんどん使ってみることで、教師も児童も慣れていくことができると思った。
- teams の課題機能や teams でのホワイトボード機能を活用していきたい。

(2)　ロイロノート等教育ツール

- 低学年での調べ学習で、ロイロノートの web カードを活用していきたいと思った。また見てほしいサイトにたどり着くことが難しい低学年にとっては、有効的だと思った。
- ヒントカードをロイロで作って配付したり、Class Notebook を使った意見共有を行う。
- teams classnotebook の活用や共有アプリのパワーポイントで共同作業をしたり、クラスノートブックをやってみたい。
- Teams の課題提出の機能を活用や Skymenu の積極的活用をしていきたい。

- Keynote を低学年に向けて使うことができるように研究していきたい。
- ロイロノートで様々な教科で単元に応じた活用をしていきたいと思った。特に、５年生では、社会で単元ごとに新聞を作成してまとめの学習を進めていきたいと思った。
- ロイロノートでのアンケートや体育での課題につなげる使い方やロイロノートを使った、共有、アンケートを行ったり、歴史新聞のようなロイロノートの使い方を総合などの時間でしてみたいと思った。
- 低学年でのロイロの活用法を模索していきたいと思った。

(3) ICT を活用した授業改善

- 協働学習の充実を行いたい。
- 音読練習の課題を出したり、夏の課題で活用したい。
- より子どもの実態に即した、教科領域に柔軟に対応した実践を行っていきたい
- ヒントカードの活用や学習のつまずきなどをアンケートで拾っていくことを活用していきたい。その上で手立てを考えていきたい。
- デジタルとアナログをうまく組み合わせてやっていきたいと思った。
- 国語の授業でロイロカードを並び替え、「時を表す言葉」に着目して、文を作ることなどに取り組んでいきたい。

(4) 研修・実践への取り入れ

- 他の学校も同じような使い方をしていたので、自分の取組を引き続き使っていきたい。
- 校内研修を行って、ICT の活用を他教員に広め、無理なく活用できるようにしていきたい。
- 児童生徒の発達段階に応じた ICT の活用の仕方に注視し、活用していきたい。
- 他校のロイロノートの実践例を取り入れていきたい。

「児童生徒」、「教師」にとって授業や教育活動での ICT 活用が必要な理由

(1) 児童生徒の交流や考えの共有

- 往来の交流の仕方では、出来なかった交流や、観察の視点をもてるようになり、子どもたちが多様な見方で授業に参加することができる。
- 同時に児童の考えを共有することができる。どのように活用していけばいいのか考えることが大切だと思う。
- ICT を使うと子供の主体性を引き出すことができたり、考えを共有しやすかったりする。
- コロナ禍でもできる生徒同士の交流の場に活用できる。
- 今までできなかった意見・考えの共有を簡単にできるし、手間がかかっていたことを簡単にできる。
- 従来の教育方と比較してより早く、より多く、より分かりやすくなるものは取り入れるべきだと思う。
- 言葉で伝えることも大切だが、苦手感や困り感をもつ児童が自己肯定感を保つために取り入れるのがよい。
- 多くの情報を得たり、それらを取捨選択して活用する力がこれからは必要だから。
- とりあえず教員も児童も使ってみて、使いながら、教育的効果を考えて取捨選択していく時期だから、どんどん取り入れて使いたい。

(2) 児童生徒の個別学習

- 個別最適化にも協働的な学習にも不可欠。

- 書くことが苦手な児童，視覚優位な児童にとっては有効。
- 一人も残さない教育をするためにとても有効
- 自分を客観的に見るための手立てとして効果的
- 児童生徒にとって、ICT 活用が必要だと感じました。自分を客観的に見る手立てとして活用することができ、自分を行っている動きについてイメージしやすくなると思う。
- 自分の学習のつまずきを確認することにも活用していくことが可能になる。

(3) 子どもの学力や学ぶ意欲の向上

- 子どもが将来生きていく上で必要な力だから
- 触っていて楽しく、子どもの学びに意欲関心を引き出せる。
- 世の中、様々な ICT 機器が溢れている中で、紙媒体ではなく ICT でできることをやらないのは非効率的だと思う。紙の良さはあるが、ICT でできることは ICT でやる必要があると思う。
- 子どもたちにとって ICT 活用能力はこれからの時代で必要になってくる力だと感じた。学力の向上のため。
- 子どもが前向きに取り組める可能性が上がる。児童生徒が興味を持てるようなアプリがたくさんあって、ゲーム感覚で学習できたり、リアルタイムで生徒の学習状況や理解度が分かり個別最適な学習支援ができるのではないかと感じる。
- ICT 活用を必要とするのではないかと考えました。また、ICT を活用することで教師側がより効果的に負担の少ない授業を行うことができると感じました。
- 今後、今以上に当たり前に ICT を使う時代になるため必要である。適切な場面を見極めて使えば、子供の興味や意欲を引き出したり、学習の定着につながったりするから。
- ICT をツールとして活用することで児童生徒にとっては学びが深まるものとなる主体的に学ぶことの具現化には欠かせないと思う。
- 今の時代書くことも大切だが、これからの時代を生きていく子どもたちには情報を扱う知識技術、プログラミング的思考などが必要不可欠になってくる。
- ICT は便利であり、オンラインでしかできないことがあるから
- プログラミング教育は、タブレットを使ってプログラミングできたりプログラミング言語を覚えたりするのでは重要ではなくて、「論理的に思考して説明する」力をつけることが大切。

(4) 教師の指導の質の向上

- 実際にさわる、動ことが大事だと感じた。そこで不具合も出てくるし、困ったときの対処法なども共有できると思った。
- まずは教師自身が使うことが大切だと実感した。
- 効率の良い学習ができ、知識の学習は時間短縮になる。
- 教師にとっても子供たちにとっても、わかりやすく、そして準備も簡単になり、考えることができるため ICT を活用していくことが必要だと思った。
- 個々の学習段階に応じて学習ができるから。

(5) 教師の仕事のスリム化

- 教師にとってはスリム化につながる。（ペーパーレス・印刷不要）
- 使用することで業務が軽減し、教師の働き方改革につながる。
- 準備の負担を減らすことができるんではないか、また、児童生徒に視覚的にわかりやすく授業ができるのではないかと思ったため。
- 紙媒体の資料印刷など業務の軽減につながる。これからの時代、ICT を活用出来ることが求められている。
- 教師の負担を減らすことが児童生徒のためにも繋がっていく。
- 教師にとっては、授業準備等の負担軽減につながる。児童にとっては、直感的に操作をしたり、動かしたりして学習ができる。また、離れた場所でも、情報の共有等が可能である。
- デジタル情報化社会に対応するため、我々の業務量削減のためにも ICT の活用は必要である。
- プログラミング教育は、タブレットを使ってプログラミングできたりプログラミング言語を覚えたりするのでは重要ではなくて、「論理的に思考して説明する」力をつけることが大切。

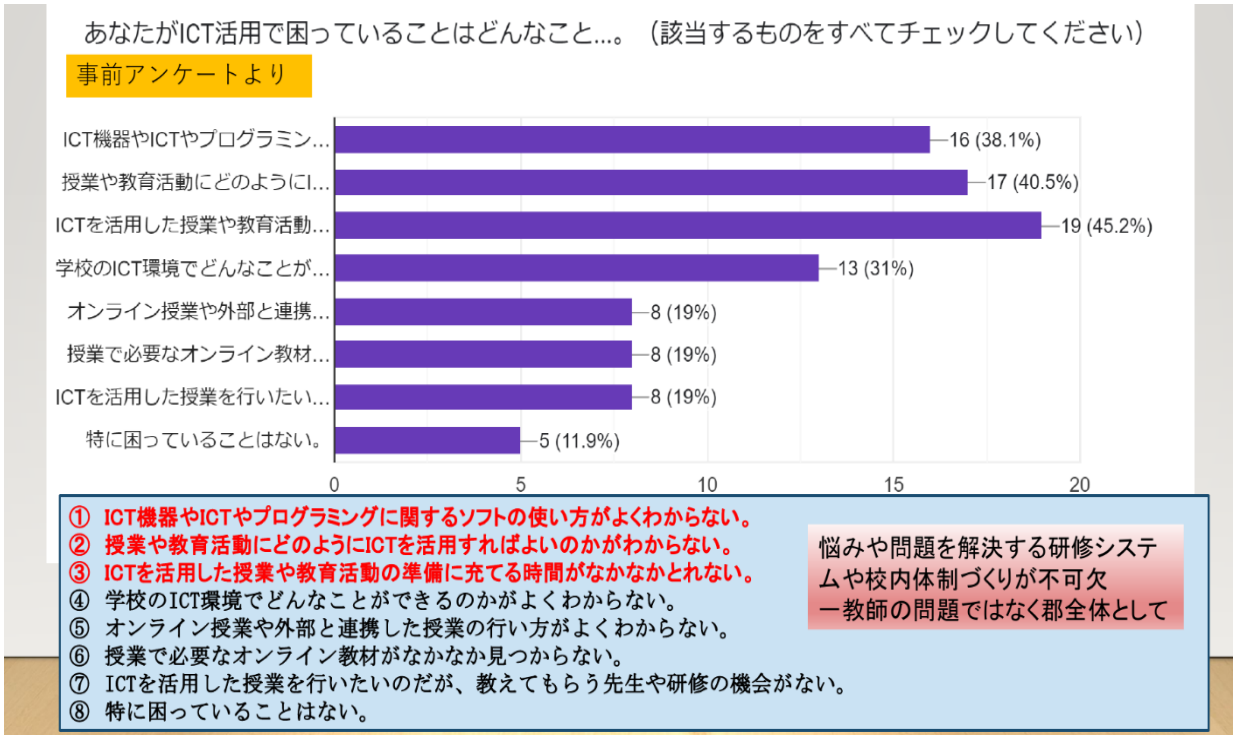
次年度のＩＣＴ研修についてのご指導より

【ICＴ活用に関する研修を通して研修部の校長先生方からいただいたご指導】

- 各学校の ICT 活用の状況を交流したが、効果的な活用が進んでいる学校と、これからさらに効果的に活用できるように職員の技能向上とともに児童生徒の技能習得を進めていこうとする学校があった。
- 学校間に活用状況の差やＩＣＴ環境の違い等があり、講師の研究員の先生方には、どのレベルを基準として本日の実技的な講習をしてよいのか迷われたと思うが、その中で工夫して町ごとの研修を実施していただいた。
- 次年度はより参加者が今日学びたい、知りたい、身に付けたいと思っている（実技的な）内容、学んだことや身に付けて実践に生かしていけることを大切にして研修が行えるとよい。
- 次年度は研修の内容をより具体的あるいは研修内容と参加者のレベルを絞ったものにして、「ICT 入門研修」「ICT 活用上級研修」あるいは「チームズを使って〇〇を行う」「〇〇の効果的な活用」等、目的をより明確にしたＩＣＴ研修を行い、そのことを習いたい、学びたい職員が参加するようにしていきたい。

- ICT 研修については、町ごとに活用状況や活用のレベル、使用しているアプリなどの違いがあるため、今年度同様の町別の研修が望ましいと思われる。

【参考】全体会で使用した ICT 研修事前アンケート（ICT 活用利用実態と活用する上での問題点）



※いただいた令和５年度の研修についての意見は今後検討し、次年度の研修計画に反映させていきます。